

Section
07

露出の基本を知る

Keyword 露出補正 / 測光方式 / ハイライト&シャドウコントロール

写真撮影で最も重要な要素の1つが露出。応用撮影モードでは、露出を思い通りにコントロールすることで、自分の撮りたい写真表現の幅を広げることができる。

1 露出について知る

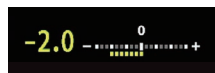


露出とはかんたんに言うと、写真に取り込む光の量、つまり明るさのこと。ISO感度(P52)、シャッター速度、絞り値の組み合わせで決まる。暗い場所では絞り値を小さく、あるいはシャッター速度を遅く、明るい場所では絞り値を大きく、あるいはシャッター速度を速くする必要がある。写真の明暗が撮影者の意図する明るさで再現された状態を、**適正露出**と呼ぶ。P、A、S、ART/録モードでは、カメラが被写体の明るさを見極めて露出を自動決定するが、画像がより明るく(プラス補正) または暗く(マイナス補正) なるように撮影者が露出をコントロールすることができる。これを**露出補正**という。

写真の明暗が撮影者の意図する明るさで再現された状態を、**適正露出**と呼ぶ。P、A、S、ART/録モードでは、カメラが被写体の明るさを見極めて露出を自動決定するが、画像がより明るく(プラス補正) または暗く(マイナス補正) なるように撮影者が露出をコントロールすることができる。これを**露出補正**という。

2 露出補正の設定方法

モードダイヤルをP、A、Sにすると露出補正值と露出補正バーの設定値が緑色になる。



フロントダイヤルを のように回すとマイナス補正される。



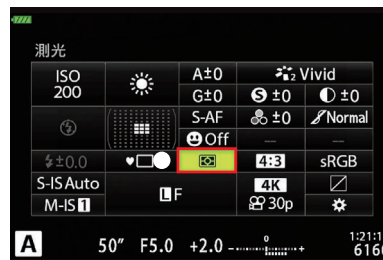
プラス補正すると画像がより明るく、マイナス補正するとより暗く表現される。±5の範囲で補正できる。



フロントダイヤルを のように回すとプラス補正される。

3 測光方式を選ぶ

測光とは、露出を決めるためにカメラが被写体の明るさを測ること。シーンに応じて測光する範囲と測光方式を選ぶことで、撮影者の意図に合わせた露出が得られる。

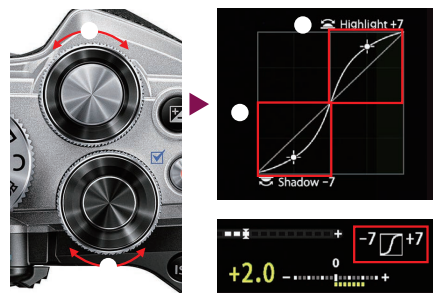


| マーク | 測光方式 |
|-----|-------------|
| | デジタルESP測光 |
| | 中央重点平均測光 |
| | スポット測光 |
| | スポット測光ハイライト |
| | スポット測光シャドウ |

OK ボタンを押し、モニターにLV スーパーコンパネが表示された状態で ボタンで測光方式を選択。フロントダイヤルを回し、種類を選ぶ。

4 ハイライト&シャドウコントロール

OM-5ではハイライト部(画像内の明るい部分)とシャドウ部(画像内の暗い部分)の明るさを変えるハイライト&シャドウコントロールができる。これによって写真のコントラスト(明暗)の強弱の調節や、ハイライト部だけを暗くしたり、シャドウ部だけを明るくしたりすることができる。



OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネでハイライト&シャドウコントロールを選択する。グラフが表示され、フロントダイヤルを回すとハイライト部、リアダイヤルを回すとシャドウ部の露出をそれぞれ調節できる。ここではハイライト+7、シャドウ-7に調節。明るい部分はより明るめに、暗い部分はより暗めになり、コントラストが強調される。INFO ボタンを押すと中間部(ミッドトーン)の調節画面に切り替えられる。

要点

露出とは写真の明るさのこと。ISO 感度、シャッター速度、絞り値の組み合わせで決まる。露出が撮影者の意図と違う場合は、露出補正をする。